



バリューチェーンを包括した環境対策

バリューチェーン温室効果ガス排出量算定支援

①バリューチェーン温室効果ガス排出量とは

企業における地球温暖化対策は進化しています。自組織の活動に伴う電力やガス、燃料の使用を通じた温室効果ガス排出量の把握はもとより、この排出量の検証や排出量取引といった取組施策が推進されています。

これまでは、製品・サービスを評価対象に、ライフサイクルアセスメント(LCA)を活用してCO₂をはじめとする温室効果ガス排出量の分析・評価が行われてきました。

近年はこれに加え、企業活動全体(バリューチェーン)を評価対象とした、温室効果ガス排出量を算定する取り組みが注目されています。

【バリューチェーン温室効果ガス排出量を分析・評価することの意義】

- 自組織内の活動にとどまらず、バリューチェーンを俯瞰して温室効果ガス排出量の削減余地がある活動を特定し、効率的・効果的な環境経営を促進します。
- バリューチェーンを俯瞰して分析・評価することで、新たなビジネスリスクや機会の発見に繋がります。
- 外部評価アンケート(CDPやDJSI等)で問われる内容であるため、企業価値の向上を促進する上で把握しておくべき情報です。

②温室効果ガス排出量の算定範囲

温室効果ガス排出量算定の国際的ガイドラインであるGHGプロトコルでは、算定範囲(スコープ)を3つに分類しています。

算定範囲(スコープ)

- スコープ1：燃料の使用等による自組織からの直接排出
- スコープ2：購入した電気等の使用による発電所等からの間接排出
- スコープ3：製造(原材料調達から廃棄まで)、輸送、通勤、出張等によるスコープ2以外の間接排出

お客様の活動データ(金額/物量データ)と、公的に発表されている環境負荷データ(温室効果ガス排出係数)を用いることで、温室効果ガス排出量が算定されます。

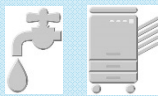
スコープ3



リース資産(上流)



通勤・営業・出張



購入製品・サービス



輸送・配送(上流)



資本財



事業廃棄物

スコープ1



燃料燃焼等の直接排出

スコープ2



購入した熱や電力の使用



燃料・エネルギー関連活動

スコープ3



輸送・配送(下流)



販売製品の加工



販売製品の使用



販売製品の廃棄



リース資産(下流)

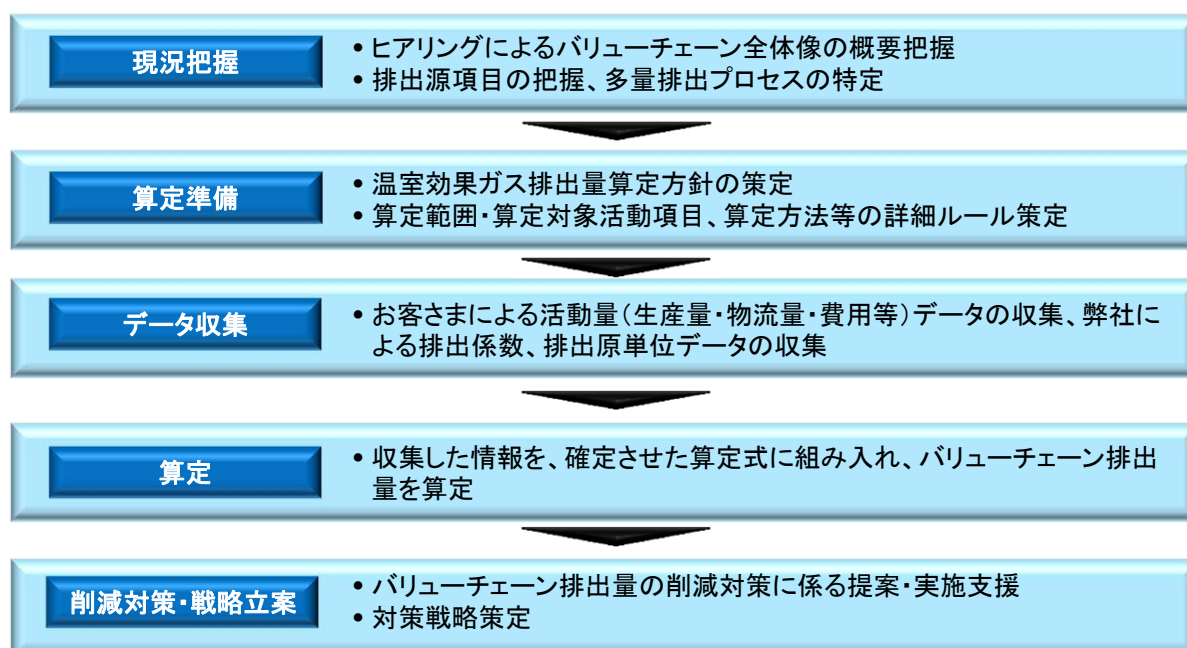


フランチャイズ、投資

③コンサルティングの流れ

バリューチェーン温室効果ガス排出量の算定は、算定対象範囲・項目が多岐にわたるため、多大な労力とコストが必要になりますが、当社が算定と管理を効率的に行うための支援コンサルティングを提供します。

算定は、「GHGプロトコル スコープ3基準」や「環境省・経済産業省 サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン」に準拠して行います。



コンサルティングスケジュールは以下のとおりです。

なお、算定内容、データ収集の状況等によりスケジュールは変更になる可能性があります。

プロセス	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目～
1.現況把握	バリューチェーン全体像の概要把握等			
2.算定準備		算定方針、算定詳細 ルールの策定		
3.データ収集		活動量、排出係数・原単位の収集		
4.排出量の算定			排出量の算定	
5.削減対策・戦略立案				削減対策・戦略立案等



SOMPOリスクマネジメント株式会社

コーポレート・リスクコンサルティング部
〒160-0023
東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル
TEL 03-3349-6828 FAX 03-3349-4677
URL <http://www.sompo-rc.co.jp>